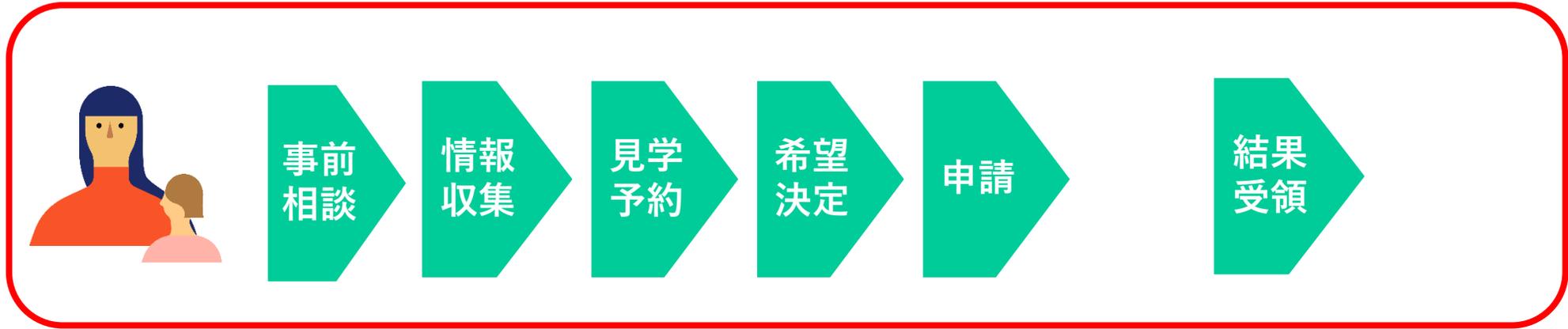


3 事業概要・開催趣旨説明（東京都）

保活ワンストップ

保育園探しから入園までの手続きがワンストップ・オンラインで完結

保護者



ワンストップの入園システム

自治体
担当者



保活ワンストップ 事業概要①

- 保護者が負担に感じている保活の手続きを一元化し、**保育園探しから入園までの手続きがオンラインで完結する「保活ワンストップシステム」を構築**。保護者の負担軽減を図り、子育てと仕事・家事との両立に向けた不安感やストレス軽減につなげる。

【保護者の保活の負担】



①情報収集が大変

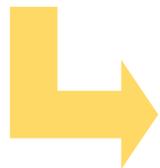
手続や施設の情報が散逸しており、情報収集に手間と時間が掛かる

②見学予約が大変

施設見学は開園時間中に電話で予約することが必要なため、子育てで忙しい中、大きな負担

③入所申請手続が大変

申請書への手書きでの記入や、提出のために妊娠中や子連れで窓口を訪問する必要がある負担



①保活に関する情報収集 ②施設見学予約 ③入所申請

などの手続を、スマホから**民間保活システム**（  や  ）
を通して **オンライン・ワンストップ** で可能に



保活ワンストップ 事業概要②

概要

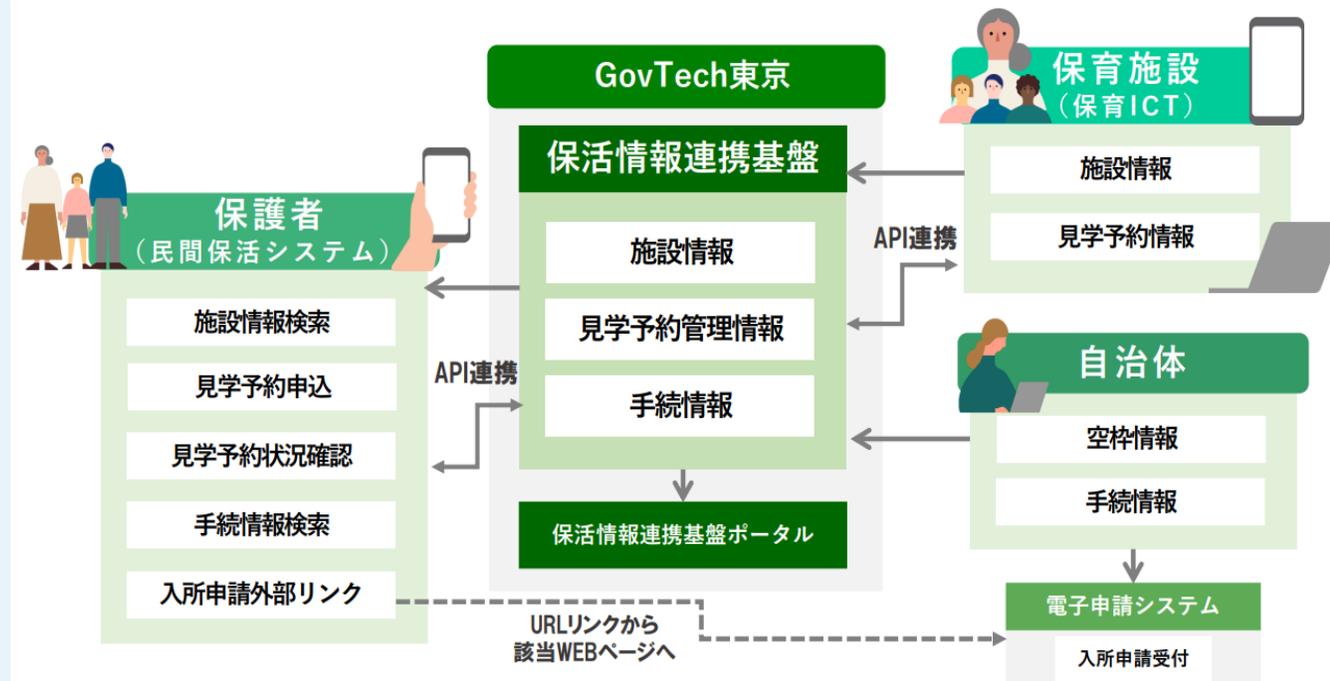
- 国のデジタル田園都市国家構想交付金 **TYPES**※を活用して取組を実施（採択済み）
- 連携 **3** 自治体（板橋区、足立区、調布市）とともに取組

※TYPES：デジタルを活用した地方公共団体の取組のうち、国や地方の統一的・標準的なデジタル基盤への横展開につながる見込みのある先導的な取組について、デジタル行財政改革事務局がプロジェクト推進に要する経費を交付金により支援

取組状況

- GovTech東京が**保活情報の連携基盤を構築**
- 民間保活アプリと保育ICTシステムを連携基盤とつなぎ、**保活ワンストップシステムを実現**
- 保活ワンストップサービスを**秋に開始予定**
 - ・連携自治体の年度途中の入園手続きから利用
 - ・**120程度**の保育施設が参加見込
- 定期的に**検討会を開催**し、システム構築や検証、改善の意見交換を実施

<保活ワンストップシステム イメージ>



保活ワンストップ 事業概要③

◆目的

デジタル田園都市国家構想交付金TYPESの先導的プロジェクトに参画し、保活ワンストップの実現に向けた取組を推進する

◆事業主体

東京都及び(一財)GovTech東京が協定に基づく協働事業として実施 ※交付金申請者は東京都

◆連携自治体

令和6年度：3自治体（板橋区・足立区・調布市）

東京都・(一財)GovTech東京・連携自治体の三者協定を締結し、実証を実施

<役割分担>

・東京都	全体統括、予算/成果物管理、複数基礎自治体の伴走支援、連絡調整、全体広報、効果測定・分析
・GovTech東京	保活情報連携基盤構築に係る仕様書作成及びプロジェクトマネジメント(委託業者管理含む)、基盤関連システム改修に係るプロジェクトマネジメント(委託事業者管理含む)
・連携自治体	保活情報連携基盤への保活関連情報の提供、参加保育施設の確保、保護者への協力依頼（広報含む）、KPI測定への協力、定例会議への参加
保育施設	保育ICT上での付加情報の入力・施設情報の編集、保育ICT上での見学予約対応、KPI測定への協力

◆令和6年度予算

5億円（国3/4、都1/4） ※保活ワンストップシステム（保活情報連携基盤等）の構築・検証費用等

◆事業期間

令和6～8年度 ※令和7年度には連携自治体数を拡大予定

保活情報連携基盤で一元化する施設情報のデータ項目(案)

基本情報 ※ここdeサーチに登録されている参加施設の情報を抽出して登録		
No.	TYPES要件の項目	保活情報連携基盤上の主な項目
1	事業所番号	事業所番号
2	施設名	施設名
3	施設形態(認可等)	法人等の種類/名称
		施設類型/設置主体
4	住所	住所
5	電話番号	電話番号
6	開所曜日・時間	開所曜日
		平日 開所/閉所時間 ※延長保育時間を含まない
		土曜 開所/閉所時間 ※延長保育時間を含まない
		日曜祝日 開所/閉所時間 ※延長保育時間を含まない
7	定員数	0歳～5歳の各年齢の利用定員数 ※自治体へ届け出ている数字
		合計の利用定員数
8	職員数	保育教諭、保育・幼稚園教諭等の資格別、雇用形態別の従業者数
		雇用形態別の従業者数
9	利用料金(実費・上乗せ)	実費徴収の有無
		実費徴収の理由 ※重要事項説明書等の内容を記載。延長保育料含む
		実費徴収の金額 ※およその目安となる金額(年額)を記載
		上乗せ徴収の有無
		上乗せ徴収の理由 ※重要事項説明書等の内容を記載
上乗せ徴収の金額 ※およその目安となる金額(年額)を記載		
10	障害児受入有無	障害児の受入れ体制
11	一時保育有無	一時預かり事業の実施
12	病児保育有無	病児保育事業の実施

付加情報		
No.	TYPES要件の項目	保活情報連携基盤上の主な項目
1	最寄り駅・バス停	最寄り駅/最寄りバス停/最寄り駅からの徒歩/最寄りバス停からの徒歩
2	受入れ年齢(月齢)	受入れ年齢(月齢)
3	保育の特色	提供内容の特色 ※ここdeサーチに登録されている情報を抽出して登録
4	保育理念・方針	運営方法 ※ここdeサーチに登録されている情報を抽出して登録
		教育・保育の内容等 ※ここdeサーチに登録されている情報を抽出して登録
5	公式サイトURL	公式サイトURL
6	園庭の有無	園庭の状況 ※施設内に園庭がある場合は「園庭」を選択。代替園庭のみの場合は「代替園庭」を選択。両方当てはまる場合は両方選択
		代替園庭名 ※公園名を記載(任意)
7	駐車場の有無	駐車場の有無/台数 ※保護者が利用できる駐車場がある場合に「有」
		駐輪場の有無/台数 ※保護者が利用できる駐輪場がある場合に「有」
8	アレルギー対応の有無	アレルギー対応の有無
		アレルギー対応の備考 ※例) 除去食のみ対応、弁当持参可など
9	延長保育の有無	午前の開所/閉所時間 ※ここdeサーチに登録されている情報を抽出して登録
		午後の開所/閉所時間 ※ここdeサーチに登録されている情報を抽出して登録
		備考 ※夕食やおやつ提供の有無などの補足があれば記載
10	関連ページ(SNS)のURL	関連ページ(SNS)のURL
11	—	備考 ※基本情報及び付加情報に記載できない施設情報を記載

※今後変更の可能性あり

保活情報連携基盤で一元化する手続情報・空き枠情報のデータ項目(案)

手続情報		
No.	TYPES要件の項目	保活情報連携基盤上の主な項目
1	—	自治体名（都道府県名/区市町村名）
		手続名 ※現年度途中入園と次年度当初入園を区別
		公開開始日/公開終了日
2	手続きスケジュール	スケジュール
3	必要書類	申込みに必要な書類
		様式・記載例
4	保育調整指数	利用調整
		指数表
5	前年実績	対象年月
		0歳の入所可能(募集)数/申込数/入所決定数
		1歳の入所可能(募集)数/申込数/入所決定数
		2歳の入所可能(募集)数/申込数/入所決定数
		3歳の入所可能(募集)数/申込数/入所決定数
		4歳の入所可能(募集)数/申込数/入所決定数
		5歳の入所可能(募集)数/申込数/入所決定数
		備考 ※補足説明や注意点等をテキスト入力
6	保育料	保育料について
		保育料金表
7	自治体公式HP	保育園申込URL

月次空き枠情報		
No.	TYPES要件の項目	保活情報連携基盤上の主な項目
1	月次空き枠情報	基準年月 ※例) 令和6年10月時点 など
		区分 ※私立/公立
		施設類型 ※施設情報での記載内容と一致
		施設名称 ※施設情報での記載内容と一致
		0歳クラス月齢 ※例) 生後57日、満6か月 など
		0歳クラス空き人数
		1歳クラス空き人数
		2歳クラス空き人数
		3歳クラス空き人数
		4歳クラス空き人数
		5歳クラス空き人数
		0～2歳クラス空き人数
	備考	

※今後変更の可能性あり

保育施設の見学予約受付の現状

【調査対象】 保活ワンストッププロジェクト参加保育施設124園

【調査方法】 Webアンケート 【調査期間】 R6年6月10日(月)～19日(金)

見学予約の受付方法

- 保護者から入る見学予約の受付方法 (複数選択可)
「電話」が98%
「園の受付フォーム」が13%、
「園のメール」が6%
- 電話の場合の園と保護者間の日時確定までのやりとり (複数選択可)
「通話しながらその場で確定」が94%
「希望日時を聞き取り、保育施設から折り返して確定」が19%
- 電話で折り返す場合、保護者につながるまでの平均架電回数
「1回」が50%、「2回以上」が21%、「留守電を残す」が29%

見学可能日の設定等

- 見学の実施は「通年で実施」が92%
見学の繁忙期は、9月・10月・11月
見学の閑散期は、4月・3月
- 見学可能日は設定しているか
「あらかじめ設定している・受付時に見学可能日を提案」が55%、
「見学の繁忙期のみあらかじめ設定している」が16%
「特に設定していない(常時受付)」が26%、
- 電話で受けた見学予約情報の記録保存方法
「まずは手書きで紙(受付簿やメモ用紙)に記録」が94%、
「直接、Excelや独自のシステムに記録」が5%

本プロジェクトにおける検証項目

1. システム検証 保活情報連携基盤について動作検証を行うとともに、各システム間の接続に関する動作検証を実施
2. 効果検証 参加ユーザーや参加施設へのアンケート調査の実施等を通じて、以下に掲げるK P Iを計測・報告

対象	項目	詳細項目	基本目標値
参加ユーザー	保活に関する満足度	保活体験全体に対する満足度	70%以上
		各工程ごとの満足度 (保活情報収集・施設見学予約・入所申請)	70%以上
		保活情報収集	同上
		施設見学予約	同上
		入所申請	同上
		各工程を同一サイト（民間保活システム）上でワンストップで実施できることに対する満足度	70%以上
	保活に係る所要時間	各工程ごとの所要時間 (保活情報収集・施設見学予約・入所申請)	合計15時間以下
		保活情報収集	—
		施設見学予約	—
		入所申請	—
	ワンストップ活用度	随時入所申請を行う保護者のうち、各工程全てシステムを利用して行った者の割合	70%以上
参加施設	施設見学予約のオンライン申請率	施設見学予約のうち、オンラインでの申請率	60%以上
	オンライン施設見学予約の満足度	オンラインでの施設見学予約に対する満足度	70%以上
市区町村	入所申請のオンライン申請率	随時入所申請のうち、オンラインでの申請率	80%以上
	入所申請のオンライン化に伴う作業時間の削減	入所申請のオンライン化に伴い、申請書のデータ入力が必要となることで削減される作業時間数	1件当たり1分 ×申請数

※上記に示す項目以外にも、有益な項目をK P Iとして設定

事業運営検討会①

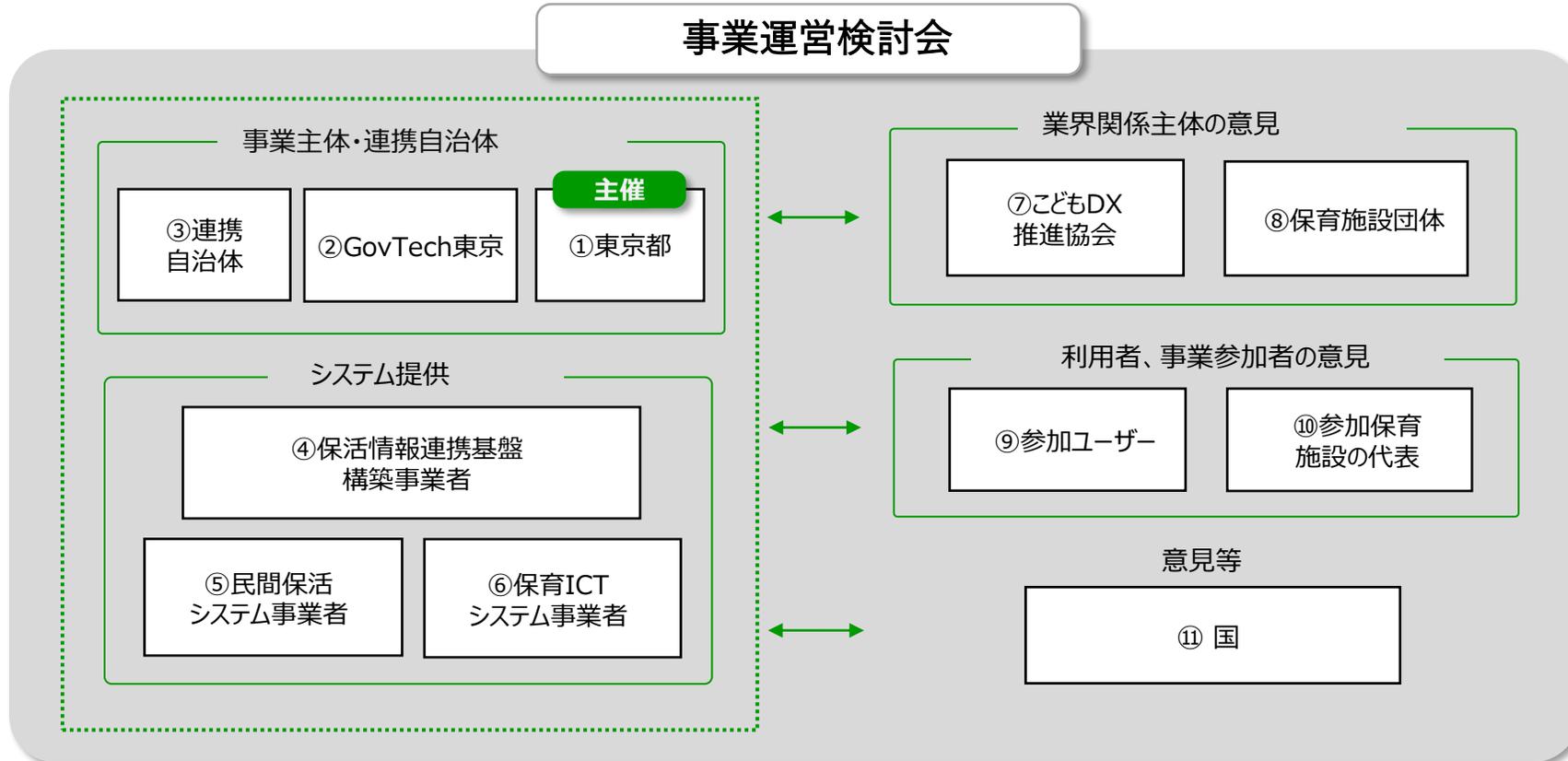
◆目的

保活ワンストップシステムの構築及びサービスの実施にあたり、本プロジェクトに参画する関係者等の意見を取り入れより良いサービス作りのために検証や改善を行うことを目的として設置する

◆開催頻度/形式

4回程度（①キックオフ、②リリース前のユーザーテスト後、③一定期間運用後、④効果測定結果とりまとめ後を想定）/ハイブリッド開催

◆構成



事業運営検討会②

◆開催概要（予定）

	第1回	第2回	第3回	第4回
開催時期	8月7日（水）	10月	12月	2月
プロジェクト進捗状況	事業者と契約を締結し、年間スケジュール詳細が確定後	構築したシステム（β版）でのユーザーテスト実施後	連携自治体において運用・効果測定を実施中	効果測定の結果とりまとめ後
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・事業概要・スケジュール共有 ・意見交換等 	<ul style="list-style-type: none"> ・ユーザーテストの結果を共有 ・意見交換等 	<ul style="list-style-type: none"> ・リリース後の運用状況報告 ・意見交換等 	<ul style="list-style-type: none"> ・効果測定の結果報告 ・意見交換等
参加者	参加ユーザーを除く委員	参加ユーザーを除く委員	全委員	全委員

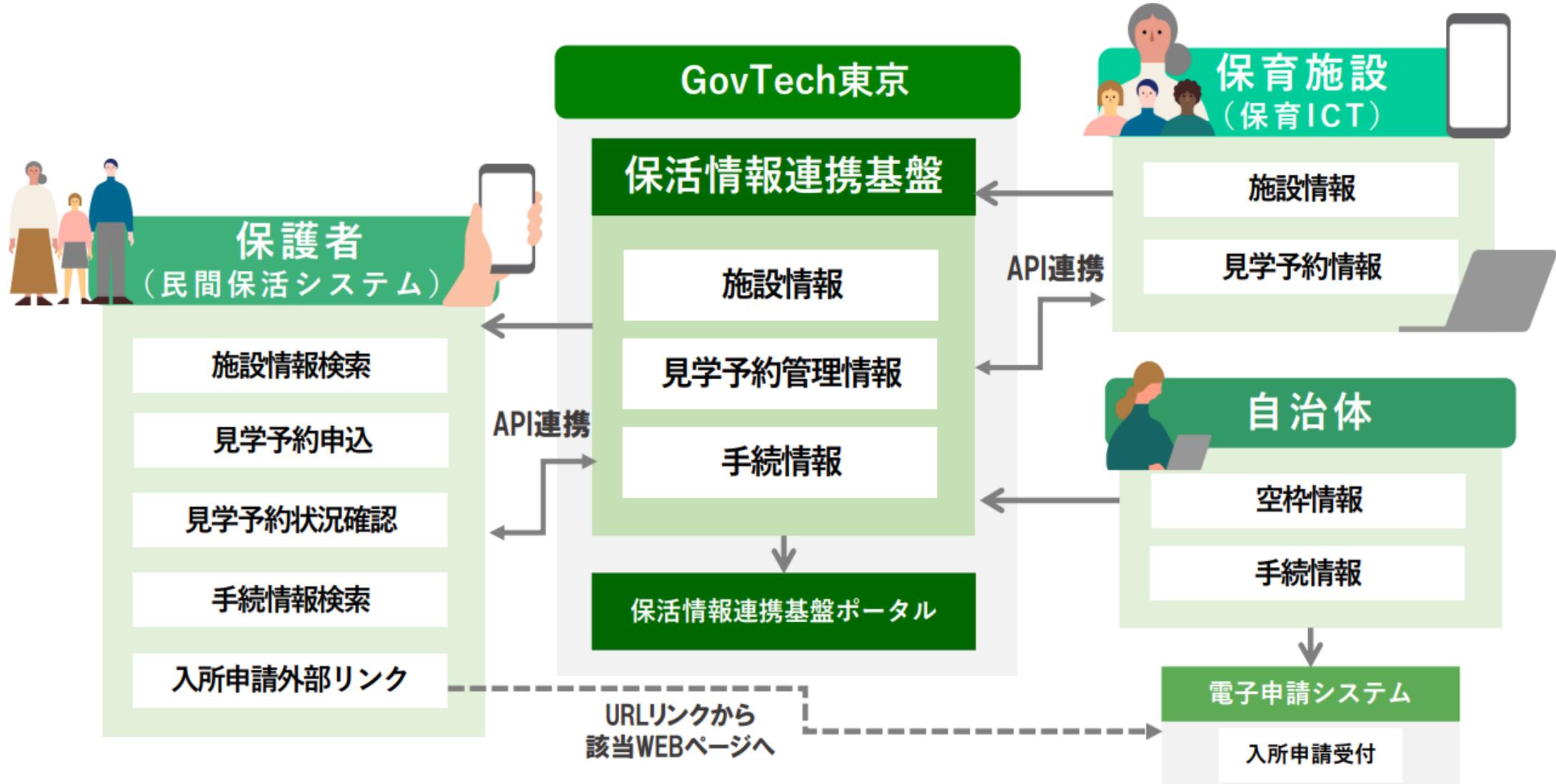
◆年間スケジュールと開催時期

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
スケジュール	契約★	システム開発		ユーザーテスト・改善★		運用・効果測定	結果とりまとめ		報告書★
		第1回		第2回		第3回		第4回	

4 システム概要・スケジュール説明 (GovTech東京)

システム概要

<保活ワンストップシステム イメージ>



システム構築スケジュール

※ 令和6年8月7日現在

